

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 都整-04 道(水)路調査事業 <input type="checkbox"/> 支援部門				タイムスコード及び個別事業名		
					271	境界査定事業	
主管課	道水路管理課	関連課	管財課、作業センター、下水道課、建築指導課		271	狭あい道路整備事業	
分野名	道路整備						
目標 (目標値)							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	78,849千円	103,173千円		指標と評価		
	(国・県)	4,381千円	6,531千円		指標	申請数 決定数(前年申請含む)	
	(負担金等)				評価	○	
	(一般財源)	74,468千円	96,642千円				
	人員配置数	8.4人	9.4人		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人件費	76,442千円	84,796千円			目標値	実績値
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費	155,291千円	187,969千円		20年度	119	123
	市民1人当 りの経費	879円	1,065円		21年度	108	78
	対象者1人 当りの経費				22年度		
	ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名				23年度	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・土地境界査定は、隣接する土地所有者の承諾がなければ進まない事業である。したがって、ケースによっては立会に向けた査定及び関係地権者の所在等の調査、立会い協力依頼、立会日の設定に時間を要しているものもある。 ・土地境界査定現地立会の結果、査定が不調となった過去の査定案件が累積している。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・地権者との立会日の設定については、関係地権者の都合を優先し、土曜日、日曜日、休日にも立会を実施している。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・次年度以降継続とする新たな不調案件が生じないように努め、概ね遂行できたが、累積している過去からの査定案件の処理については、可能なものから処理したが、あまりできなかった。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・申請から立会までの日数を更に短縮すべく更に様々な工夫をしていく。 ・狭あい道路後退用地の現地調査を作業センターと同行で行い、同センターとの連携を更に強化し、緊急度などの要望を現地で調整することにより未舗装箇所を減少を図る。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	積極的な事務の改善を実施し、累積案件の減少を図るとともに、新規案件の適正な境界立会協議の実施及び処理期間の短縮を図る。		評価結果	改善の必要性	事務の改善を継続し、より効率的な事務処理を確立する。	
B	有			B	有		
課長名		道水路管理課長 稲葉 一男		部名・部長名		都市整備部 山内 廣行	